

応用生物委員会（第21期・第5回）議事要旨

日時： 平成21年8月20日（木）10:00～12:00

場所： 日本学術会議5階 会議室

出席者： 鷺谷いづみ委員長、北里洋委員、斎藤成也副委員長、西田治文委員、
松本忠夫委員、美宅成樹委員、青池事務官

欠席者： 今中忠行委員、長谷川寿一委員、長谷川真理子委員

議事

- (1) 前回議事要旨案（資料1）を一部修正の上承認した。
- (2) 「日本の展望」の進行状況について、資料2～4を用いて議論した。各分科会からのコメントをまだしばらくは受けつけることが可能であることを確認した。
- (3) 来年のCOP10にむけた活動、特に応用生物学委員会からの提言について、今年末までにまとめる必要がある。10月12日開催予定の次回委員会で議論し、10月19～20日の総会時にも委員会を開催して議論することとした。素案を10月末までにまとめる予定とした。
- (4) サイエンスアゴラで開催する本委員会主催シンポジウムの内容について、資料5を用いて議論した。開催日を当初希望した11月1日（日）から11月2日（月）の午後に変更することを了承した。イベント名をもっとやわらかい言葉に変えることにした。名称案については、担当の斎藤が各委員と連絡をとりあうこととした。
- (5) 10月12日に名古屋国際会議場で開催される「生物多様性に関する科学と学術の対話フォーラムの1年前のプレシンポジウム」について、資料6を用いて説明があった。16:15～16:50のあいだに、本委員会のメンバー7名がそれぞれの分野について3～5分ほど紹介し、その後18:00までパネルディスカッションに参加する。18:00～20:00まで本委員会を開催する。
- (6) 国際自然保護連合（IUCN）グローバル・ポリシー・ユニットの日本プロジェクトオフィスのシニア・プロジェクト・オフィサーである古田尚也氏がオブザーバーとして出席し、資料7を用いて、生物多様性条約COP10に向けたIUCNの取り組みについての説明を受け、質疑応答を行った。

以上